

# 平成 29 年度神奈川県動物愛護管理推進協議会概要

【傍聴人なし】

## 議題

(1) 「神奈川県動物愛護管理推進計画（平成 26 年度から平成 35 年度）に基づく平成 29 年度実施結果（4～12 月）」について

## 事務局

- 神奈川県動物愛護管理推進計画は「人と動物との調和のとれた共生社会」の実現に向けて、動物愛護管理行政を独自に推進している横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、藤沢市及び茅ヶ崎市と県が中心となって取り組む計画として平成 20 年 3 月に策定した。
- 数値指標を掲げており、12 の施策に取り組むことにより、目標の達成を目指すものである。
- 今年度 12 月末時点の数値指標の達成状況の結果が資料 1－1、12 の施策の取組み結果が資料 1－2 である。
- 指標とする数値については、経年データから算出した推定値をもとに、設定している。
- 「犬・猫の収容数」については、その減少に向けて取り組む施策が長期的展望に立ったものであるため、5 年後の指標は、推定値と同等としていますが、10 年後の指標は推定値よりさらに減らす設定としている。
- 「犬の返還・譲渡率」については、引取り数減少の取組みの推進により、譲渡に適さない犬（凶暴、高齢、病気等）の割合が高まることを考慮し、5 年後、10 年後ともに、指標を推定値より低く設定している。
- 「猫の譲渡率」については、県が平成 25 年 9 月から譲渡費用を廃止したことに伴う譲渡数の増加を考慮し、5 年後、10 年後ともに、指標を推定値より高く設定している。
- 「動物の致死処分数」「動物の苦情件数」については、5 年後、10 年後ともに、指標を推定値と同等に設定している。
- なお、昨年度時点で「動物の苦情件数」以外は 10 年後の目標値を達成している。
- 資料 1－2 について、各自治体のトピックは次のとおりである。
- 神奈川県は、10 ページにあるとおり、飼い主のいない猫対策として、超音波式猫被害軽減器を新規で 10 台購入し 31 件貸出し、貸した人の 8 割が購入に至っている。

- 横浜市は、5ページにあるとおり、猫の避妊又は去勢手術についての補助金を交付しており、今年度から飼い主のいない猫限定とされている。
- 8ページにあるとおり、地域猫活動モデル事業は実施して5年になるため、今後の事業について検討される予定である。
- 川崎市は、1ページ目にあるとおり、動物愛護フェアかわさきでは、高齢者向け寄席、映画「ペット」の上映、子供向け仮装等の実施により、来場者が多かったとのことである。
- 2ページ目にあるとおり、地域猫活動セミナーを実施し、今年度は約70人がご参加いただいている。
- 市民公開講座では昨年度実施した3回実施して約70人の参加者であったのが、今年度はシニア動物との付き合い方セミナーとして実施したところ1回で約100人参加があり、周知方法の工夫により参加者が増えたとのことである。
- 4ページ目にあるとおり、環境省と共同で終生飼養等に関するクリアファイル及びリーフレット・災害対策としてエコバックの作成及び配布を行っている。
- 相模原市は、1ページ目のとおり、動物フェスティバル2017inさがみはらでは沢山の方が来場した。
- 飼い主のいない猫対策として猫の相談会や捕獲器の貸し出しを行っており、9ページ目にあるとおり、地域猫活動の登録地域も3年で13地域に増えている。
- 横須賀市は、夏休み動物愛護センターお仕事体験教室を新規で実施し、好評だったとのことである。
- 9ページ目にあるとおり、地域猫活動支援事業として登録団体が26団体、平成29年度12月末の避妊又は去勢手術実施数が211頭だった。
- 藤沢市は、来年度は小学校において動物愛護精神の普及啓発事業を動物愛護推進員と行うことを検討されている。当該事業では猫の紙芝居、動物愛護推進員が扮する犬との接し方などを予定されている。
- 茅ヶ崎市は、散歩マナーパトロールを行政、自治会及びシルバー人材センターで行われている。
- 9ページ目にあるとおり、飼い主のいない猫対策として、ボランティア団体との協働事業により259頭の猫の避妊又は去勢手術を実施されている。
- 本内容について、事前にいただいている意見とそれに対する回答は資料のとおりである。

#### 委員

- 教育現場での普及啓発の推進について、希望があった学校に限らず、広く推進していただきたい。

委員

- 特定動物の許可の計上について、公立と民間で区分するとよい。

会長

- 委員の皆さま、こちらの議題については、今後1～3月分を追加して平成29年度の実施結果とし、詳細については、事務局一任とすることとしてよいか。

一同

- よい。

## (2) 「神奈川県動物愛護管理推進計画（平成26年度から平成35年度）に基づく平成30年度実施計画（案）」について

事務局

- 来年度の新規事業としては次の3点である。
  - ・「人と猫との共生社会支援事業」を実施し、捕獲器の貸出及び登録した地域の飼い主のいない猫に係る避妊又は去勢手術費用を一部助成し、地域猫活動事業を実施する。（相模原市）
  - ・「相模原市猫の適正飼養ガイドライン」を策定し、広報紙への掲載やパンフレットの配布により周知を図り、猫の適正飼養の啓発を行う。（相模原市）
  - ・小学校へ出張し、動物愛護推進員と協働で動物愛護精神及び適正飼養の普及啓発を図る。（藤沢市）
- 本内容について、事前にいただいている意見とそれに対する回答は資料のとおりである。

委員

- 高病原性鳥インフルエンザ等対応指針があるとのことだが、低病原性鳥インフルエンザの対応についても検討いただきたい。

委員

- 変動超音波式猫被害軽減器は、猫以外の動物にも有効か。

委員

- 猫にのみ有効と聞いている。

### (3) 平成 30 年度神奈川県動物愛護推進員の選考について

事務局

- 団体推薦の動物愛護推進員につきましては、各団体から、動物愛護推進員のご推薦をいただき感謝する。
- また、公募推薦の動物愛護推進員の面接は、2月1日に、終えたところである。推進員の決定の正式なお知らせについては、今月末を目途に、委嘱式の日程等のお知らせも併せて、各動物愛護推進員の方に通知するとともに、ご推薦いただいた団体あてにお送りする。
- 動物愛護推進員の皆様方には、設置要綱及び活動要領に基づき、活動に関する具体的な相談窓口や心構えなどを盛り込んだマニュアル等を参考に活動していただくことになる。

### 報告事項

#### (1) 公益財団法人神奈川県動物愛護協会からの報告事項

委員から資料に基づき説明があった。

委員

- 飼い主のいない猫の妊娠状況について、今年度は少ない結果となっているが、何か要因はあるか。

委員

- 避妊手術の依頼件数自体は減ってはいない。

事務局

以上をもちまして、平成 29 年度神奈川県動物愛護管理推進協議会を閉会する。

本日は、お忙しい中をお集まりいただき、感謝する。

以上